名補佐役、大いに語る！

編集局インタビュー　⑭

―あなたにとって、特別な会社を目指して－

森　浩一（もり　こういち）

三谷産業株式会社　情報システム事業部副事業部長

事業部の紹介

情報システム事業部および情報ソリューション事業部では、フィールドサポート事業部との連携のもと、システムインテグレーションサービス(以下 SI)、パッケージソフトウェア、セキュリティ・ネットワーク・ストレージ等の情報インフラの構築・サポート、情報システムの保守・サポートサービス、アウトソーシング運用サービス等当社のリソースを活用した総合的なソリューションの提案を積極的に推進し、事業のより一層の拡大を図っております。（HP より）

森さんのプロフィール

出身地：金沢市　　年齢：48 歳　　家族構成：妻、子供 2 人

文化の香り高い金沢市立玉川図書館に隣接する近代的な建築デザインの三谷産業（株）本社を訪ね、約１時間のインタビューをしました。（以下は要約）

編集局　お仕事の内容を教えてください。

森　　コンピュータ部門の営業の責任者であり、公共グループ福井グループ（ＳＥ含む）も担当しています。

基本的には、デスクワーク 1／3、部下の報告 1／3、お客様への訪問が 1／3 という風に自分の仕事を配分しています。

ＰｏｗｅｒＥｇｇ（グループウェア）で、イレギュラーな数値やコメントが見つかった時には、その都度部下に確認をし、指導するようにしています。コミュニケーションを円滑にするために皆との会話を意識的に増やそうと努力しているつもりです。

編集局　部下の方を指導される時に気をつけていることはありますか？

森　　部下には「お客様の目線に立っているか？」ということを常々問いかけています。

「社内の理屈でなく、自分の都合でなく、お客様の目線でものを考えていますか？」ということです。それが何より大切だと考えています。

若い社員の中には私の言葉を素直に受け取るものもいれば、反発するものもいます。

彼らには「一生懸命だと知恵がでるよ、でも中途半端だと愚痴が出るよ」とよく言っています。

われわれの業界は人が財産ですから、彼らを育てることも大切なことだと思っています。

最近は女性もメリハリをつけて家庭と仕事を両立する姿が見られるようになりました。わが社でも支援制度は充実させています。あとは本人のやる気とご主人の理解があれば、十分活躍してもらえると思います。

編集局　ご趣味は何ですか？

森　　時間がある時は金沢市内を歩いているか、高杉良の本を読んでいるか・・・ですかね。

金沢という街が好きだったことと、地域の社会貢献ができると良いなという思いから三谷産業に就職しました。

休みの日には、金沢の寺とか神社、坂などを歩いています。建物の由来などを書いた案内看板などを見ながら歩くと金沢を再発見できますよ。

わが社は隣に玉川公園があり、金沢の中心部に位置します。環境に恵まれているので、お客様が他県から来られると必ず金沢の良さを知って帰ってもらいます。金沢の歴史に触れて美味しい郷土料理を堪能して頂くと大変喜ばれますよ。その他の趣味と言えば、ゴルフぐらいですかね。

編集局　御社のいち押しは何ですか？

森　　昔はハードを売ることが営業の中心でした。しかし今は、ハードはシステムのおまけみ

たいなものです。サービスの中でどうやって付加価値をつけるか、他社との差別化をどう出すかです。
わが社がお客様へアピールできるところは、営業・SE・CE・アウトソーシングの四位一体であるというところです。「あなたにとって特別な会社を目指して」がわが社のキャッチフレーズです、ベンダーサービスからパートナーサービスを目指していきたい。またワンストップサービスも大切なことだと認識しています。「三谷に言えば何でも受け止めてくれる」とお客様に信頼されることで付加価値をつけたいと思っています。
わが社のように、北陸・首都圏・ベトナムに拠点があると企業は珍しいと思います。
ベトナムには情報関連の子会社「AIT」があります。ベトナムは生活水準が低いイメージを持つ人も少なくないと思いますが、ベトナムにお客様を案内すると、皆さん想像以上に高い技術力と、美しい街並みに驚かれます。
ベトナム人にとっては、外資系の会社に入って大きなビルの上層階でビジネスをすることがステータスとなります。わが社は彼らの理想にあてはまっているので、優秀な人材が確保できるのです。ベトナム人はハングリー精神があり、親を大切にするという昔の日本人のようなところがあります。そんなところに惹かれて三谷がベトナムビジネス（最初はミネラルウォーターとドライアイスの事業だとか）を展開しました。ベトナムは日本に対して友好的ですし、食べ物もおいしい・・・一度行かれるといいですよ。

編集局　今後のビジョンをお聞かせ下さい。
　森　　地域に密着したビジネスを展開し地域社会に貢献していきたいと考えています。
お客様に信頼されお客様と共に成長していきたいとも考えています。

編集局　最後に ISA へ一言お願いします。
　森　　石川県の情報システムを高めるような実りある活動をしてほしいですね。産官民一体になって情報のリテラシーを高めてほしいと思います。
現在のイベントは、行事的になっているのではないでしょうか？もう少し県民と一体感のあるもの、行ったらワクワクするような、なるほど・・と勉強できるようなフェアがいいのかな？
来場される方に、何で楽しんでもらうかを考えてほしいですね。来ていただいたからには、ワクワクする・楽しい・勉強ができる・そんなイベントを是非企画してほしいと思います。

＜編集局ブログ＞
20 数年前は、紫錦台中学野球部で三尖塔の周りをランニングしていたのでしょうね～
物腰の柔らかさからは、その当時の坊主頭の活発な少年の姿は想像できませんでした・・・。
今はウォーキングで金沢市内を散策されているとか。そろそろ健康にも気をつけながら郷土を学びたくなる年齢でしょうか？

三谷産業と言えば地元では知らない人はいないでしょう。そんな地域密着の商社ならではの地域貢献は、追随する若い企業に見習ってほしいところです。

石川県の情報システム産業の歴史を物語るような古いコンピュータが倉庫で眠っていないかを尋ねると、その場で担当の方へ電話をかけてくださいました。
対応の速さは流石、一流の営業マンです。こういう対応の速さが顧客との信頼関係を深めるのでしょうね。

「野望は胸に秘めておくもの・・・」と冗談で言われたひと言に、駆け引き上手な営業の横顔を垣間見た気がしました。
きっと山ほどの商談をこなしてきたんだろうな～。